



研修名	<p style="text-align: center;">児童養護施設職員向け若年者自殺対策研修 「児童養護施設の子どもたち ～トラウマの視点での理解と対応～」</p>
講師	福岡大学 精神科医師 齊藤陽子 先生
開催日時	令和8年5月14日（木）13:00～16:00
開催場所	総合保健福祉センター2階 講堂
参加者数	18名（保育士、児童指導員、心理士など）
研修の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもの権利」「トラウマインフォームドケア」「アタッチメント」などについて、児童養護施設に勤務する職員向けにご講話いただきました。</li> <li>・ 基礎的な部分から、子ども達への向き合い方や支援におけるポイントなど、実践に役立つ内容で、参加者は領きながら熱心に聴講していました。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の担当児も ACE 経験者で大きなトラウマがあります。「死」について触れにくいものだと思っていたけれど、子どもの思いを引き出して再演しないように支援したいです。また、感情と一緒に育てていきたいとすごく思いました。</li> <li>・ どんな感情も感情である限り害はない、というのが一番心に残っていて、子どもが気持ちを話した時に、私も活用していきたいと思いました。</li> <li>・ 子どもの行動一つ一つに意味があり、見逃さずに気付いて対応していきたい。子どもにとってのよいモデル、環境になっていこうと改めて思った。</li> <li>・ 何でもネガティブに考えしまう子がいるので認知の三角形を使ってポジティブな気持ちや考えを伝えていきたいと思います。</li> </ul>